

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	基礎国語①	前期2単位	6	6	3

◇科目の目標

文章読解のための基礎的事柄を確認しつつ、正確に読解する力をつける。さらに、自分の考えをまとめ表現する力をつける。

◇科目の概要

国語の基礎的事柄を学習し、「現代の国語」「言語文化」の学習につなげる橋渡しの科目です。

◇学習の進め方

辞書と便覧を手元に置き、レポートの問題に一つ一つ丁寧に取り組んでいきます。教科書はありませんので、学習資料を使いながら学習を進めていきます。

◇履修にあたっての留意点

本文を声に出して読み、わからない点をはっきりさせるようにチェックを入れるなどし、必ず予習をしてきてください。また、意味のわからない語句や漢字がわからない語句があればすぐに辞書をひく習慣を身につけましょう。

◇使用教科書・副教材 学習資料・新国語便覧（第一学習社）

◇スクーリング計画

回数	開講月日	授業内容	学習資料ページ
1	4月23・24日	漢字の学習 ことわざ・故事成語の学習	P1～2
2	5月7・8日	口語文法の学習 品詞の学習	P2～6
3	5月28・29日	現代文の学習①（評論文） 慣用句の学習	P6～8
4	6月25・26日	古文の学習 漢文の学習	P8～10
5	7月2・3日	敬語の学習 原稿用紙の使い方	P10～12
6	7月16・17日	現代文の学習②（随想）	P13～15

◇テスト範囲

中間	レポート1/6～3/6の範囲でテストを実施します。 詳細は「筑摩」で連絡します。	期末	レポート4/6～6/6の範囲でテストを実施します。 詳細は「筑摩」で連絡します。
----	---	----	---

◇成績評価の方法

成績はレポートの評価、テスト、面接出席状況等から総合的に評価します。
観点別評価の「知識・技能」は主としてテストによる学習の定着度から評価します。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格のものはCとします。
「思考・判断・表現」は6通のレポートの取り組みを総合して評価します。レポートの表現課題までしっかりと取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、不合格のものはCとします。
「主体的に学習に取り組む態度」はスクーリングへの出席状況と学習態度を合わせて評価します。出席状況がよく、積極的に学習に取り組んだものにはA、合格基準を超えたものはC、合格基準に満たなかったものはCとします。

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	基礎国語②	後期2単位	6	6	3

◇科目の目標

文章読解のための基礎的事柄を確認しつつ、正確に読解する力をつけます。また、国語の知識や技能を学びながら、自分の考えや思いを表現する力をつけます。

◇科目の概要

国語の基礎的事柄を学習し、「現代の国語」「言語文化」の学習につなげる橋渡しの科目です。

◇学習の進め方

必ず、辞書と便覧を手元に置き、レポートの問題に一つ一つ丁寧に取り組んでいきましょう。教科書の代わりに、学習資料を使いながら学習を進めます。

◇履修にあたっての留意点

本文を声に出して読み、わからない点をはっきりさせるように予習しましょう。意味のわからない語句や漢字はすぐに調べる習慣を身につけましょう。

◇使用教科書・副教材 学習資料・新国語便覧（第一学習社）

◇スクーリング計画

回数	開講月日	授業内容	学習資料ページ
1	10月15日・16日	言葉の学習・漢字の学習 慣用句の学習	P1～3
2	10月29日・30日	口語文法の学習（言葉の単位・文節の関係・品詞・接続）	P3～6
3	11月5日・6日	現代文の学習①（小説） ことわざ・故事成語の学習	P7～9
4	12月3日・4日	古文の学習 漢文の学習	P10～13
5	12月10日・11日	敬語の学習 手紙の書き方	P14～16
6	1月7日・8日	現代文の学習②（随想）	P17～19

◇テスト範囲

中間	レポート1/6～3/6の範囲でテストを実施します。 詳細は「筑摩」で連絡します。	期末	レポート4/6～6/6の範囲でテストを実施します。 詳細は「筑摩」で連絡します。
----	---	----	---

◇成績評価の方法

成績はテスト、レポート、面接出席状況等から総合的に評価します。
観点別評価の「知識・技能」は主としてテストによる学習の定着度から評価します。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格の時はCとします。
「思考・判断・表現」は6通のレポートの取り組みを総合して評価します。レポートの表現課題まですべてをしっかりと取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、不合格の時はCとします。
「主体的に学習に取り組む態度」はスクーリングの出席状況と学習態度を合わせて評価します。出席状況がよく、積極的に学習に取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、合格基準を超えない時はCとします。

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	現代の国語	前期2単位	6	6	3

◇科目の目標

国語で的確に理解し適切に表現する資質・能力を育成します。実社会に必要な国語の知識や技能を学ぶとともに、論理的に考える力や想像力を育み、言葉を通して社会に関わる態度を養います。

◇科目の概要

現代を代表する著者による様々な文章を読みながら、漢字・語彙・読解の基本を学習します。また、言葉遣いや文章の組み立てなど学び、自分の考えや思いを表現することを学びます。

◇学習の進め方

教科書の本文はもちろんですが、レポートの問いもしっかり読むことを心がけましょう。分からない言葉は辞書を引き、国語便覧も活用して学習を進めましょう。

◇履修にあたっての留意点

教科書をしっかり読むことが基本です。特に声を出して読むこと、書くことを重視してください。また、漢字の書き取りドリルなど、繰り返し手で書いて覚えることも必要です。

◇使用教科書・副教材 新編現代の国語（東京書籍） 新国語便覧（第一学習社）

◇スクーリング計画

回数	開講月日 前期 後期	授 業 内 容	教科書 ページ
1	4月23・24日	ルリボシカミキリの青 言葉の単位、主語・述語	12～17
2	5月7・8日	未来をつくる想像力 話す・聞く 分かりやすい説明をしよう	56～62 54～55
3	5月28・29日	鍋洗いの日々 自立語と付属語 考えよう 相手に応じた言葉の選び方	94～99 138～140
4	6月25・26日	美しさの発見 接続詞、一文の長さ	142～149
5	7月2・3日	真の自立とは 主語と述語との対応	179～187
6	7月16・17日	書く 読み手のアドバイスを生かして紹介文 を書こう	159～164

◇テスト範囲

中間	レポート1/6～3/6の範囲でテストを実施します。 詳細は「筑摩」で連絡します。	期末	レポート4/6～6/6の範囲でテストを実施します。 詳細は「筑摩」で連絡します。
----	---	----	---

◇成績評価の方法

成績はテスト、レポート、面接出席状況等から総合的に評価します。
観点別評価の「知識・技能」は主としてテストによる学習の定着度から評価します。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格の時はCとします。
「思考・判断・表現」は6通のレポートの取り組みを総合して評価します。レポートの表現課題まですべてをしっかりと取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、不合格の時はCとします。
「主体的に学習に取り組む態度」はスクーリングの出席状況と学習態度を合わせて評価します。出席状況がよく、積極的に学習に取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、合格基準を超えない時はCとします。

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	言語文化	後期2単位	6	6	3

◇科目の目標

日本人として大切にしてきた言語文化を積極的に享受し、社会や自分との関わりの中でそれらを生かしていく態度を育てる。

◇科目の概要

古文・漢文・近現代の小説の名作を読み、言語文化の教養を高め、そこから自己の思想を表現し、生き方に反映させる。

◇学習の進め方

教科書を熟読し、レポートに取り組む。疑問点はスクーリング等を活用して、積極的に質問するなどし、理解を深める。

◇履修にあたっての留意点

教科書の各作品をしっかりと読む。基礎的な一般教養知識は覚えること。

◇使用教科書・副教材 『新編言語文化』（東京書籍）・『カラー版 新国語便覧』（第一学習社）

◇スクーリング計画

回数	開講月日	授業内容	教科書ページ
1	10月15日・16日	『さくらさくらさくら』 「古文の言葉と仮名遣い」	10～15 124～125
2	10月29日・30日	『宇治拾遺物語（児のそら寝）』 『徒然草（奥山に、猫また……）』	122～123 140～141
3	11月5日・6日	「訓読の基本」 「格言」	210～211 212～215
4	12月3日・4日	故事成語「守株」・「漢詩の形式ときまり」 絶句と律詩「春暁」・「贈汪倫」	220～221・236 229～235
5	12月10日・11日	『デューク（江國香織）』 『とんかつ（三浦哲郎）』	107～116 24～35
6	1月7日・8日	『羅生門（芥川龍之介）』	72～87

◇テスト範囲

中間	レポート 1/6～3/6 詳細は『筑摩』にて連絡。	期末	レポート 4/6～6/6 詳細は『筑摩』にて連絡。
----	------------------------------	----	------------------------------

◇成績評価の方法

成績はテスト、レポート、面接出席状況等から総合的に評価する。
 観点別評価の「知識・技能」は、主としてテストによる学習の定着度から評価する。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格の時はCとする。
 「思考・判断・表現」は、6通のレポートの取り組みを総合して評価する。レポートの課題まで全てをしっかりと取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、不合格の時はCとする。
 「主体的に学習に取り組む態度」はスクーリングの出席状況と学習態度を合わせて評価する。出席状況がよく積極的に学習に取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、合格基準を超えない時はCとする。

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	古典B①	前期2単位	6	6	3

◇科目の目標

古典としての古文と漢文を読む力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって、人生を豊かにする。

◇科目の概要

国語総合で学んだ古典を基礎にして、より多くの作品を読み味わい、読解力と理解力を高める。

◇学習の進め方

教科書を熟読し、レポートに取り組む。疑問点はスクーリング等を活用して、積極的に質問する。

◇履修にあたっての留意点

個々の作品に興味を持ち、内容を理解できるように努めること。

◇使用教科書・副教材 『高等学校 改訂版 標準古典B』（第一学習社）・『カラー版 新国語便覧』（第一学習社）・『解析古典文法』（桐原書店）・『標準古典B 学習書』（NHK出版）

◇スクーリング計画

回数	開 講 月 日	授 業 内 容	教科書ページ
1	4月23日・24日	「文法の基礎」・『徒然草（序段）』 『竹取物語（冒頭文）』	34 18
2	5月14日・15日	『十訓抄（文字一つの返し）』 『唐物語（望夫石）』『万葉集』	12～13 98～99
3	5月28日・29日	『竹取物語（火鼠の皮衣）』 『伊勢物語（初冠）』『万葉集』	19～21 26～27・50～52
4	6月25日・26日	「助長」「絶句」「臨洞庭」 『論語（已矣乎）』『老子（柔弱）』	168・184・186 216・222
5	7月9日・10日	『枕草子（うつくしきもの・中納言参り給ひて）』 『方丈記（ゆく川の流れ）』『徒然草（公世の二位）』	62～63・66 42～43・34～35
6	7月23日・24日	『更級日記（門出）』 『源氏物語（光る君の誕生）』	70～71 134～136

◇テスト範囲

中間	レポート 1/6～3/6 詳細は『筑摩』にて連絡。	期末	レポート 4/6～6/6 詳細は『筑摩』にて連絡。
----	------------------------------	----	------------------------------

◇成績評価の方法

成績はテスト、レポート、面接出席状況等から総合的に評価する。

観点別評価の「知識・技能」は、主としてテストによる学習の定着度から評価する。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格の時はCとする。

「思考・判断・表現」は、6通のレポートの取り組みを総合して評価する。レポートの課題まで全てをしっかりと取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、不合格の時はCとする。

「主体的に学習に取り組む態度」はスクーリングの出席状況と学習態度を合わせて評価する。出席状況がよく積極的に学習に取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、合格基準を超えない時はCとする。

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	古典B②	後期2単位	6	6	3

◇科目の目標

古典としての古文と漢文を読む力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって、人生を豊かにする。

◇科目の概要

国語総合で学んだ古典を基礎にして、より多くの作品を読み味わい、読解力と理解力を高める。

◇学習の進め方

教科書を熟読し、レポートに取り組む。疑問点はスクーリング等を活用して、積極的に質問する。

◇履修にあたっての留意点

個々の作品に興味を持ち、内容を理解できるように努めること。

◇使用教科書・副教材 『高等学校 改訂版 標準古典B』（第一学習社）・『カラー版 新国語便覧』（第一学習社）・『解析古典文法』（桐原書店）・『標準古典B 学習書』（NHK出版）

◇スクーリング計画

回数	開 講 月 日	授 業 内 容	教科書ページ
1	10月8日・9日	「歴史的仮名遣い」・「単語と品詞」 『古今著聞集（小式部内侍が大江山の歌の事）』	14～15
2	10月22日・23日	『徒然草（奥山に、猫またといふものありて）』 『方丈記（安元の大火）』	36～37 44～45
3	10月29日・30日	「漢文学習の基礎」 「故事・寓話（画竜点睛・朝三暮四）」	170～173
4	12月10日・11日	『大鏡（弓争ひ）』 『大和物語（姨捨）』	124～125 104～105
5	12月17日・18日	『蜻蛉日記（泔坏の水）』 『紫式部日記（日本紀の御局）』	148～149 150～151
6	1月14日・15日	『孟子（民父母）』 『韓非子（法者王之本也）』	220～221 226～227

◇テスト範囲

中間	レポート 1/6～3/6 詳細は『筑摩』にて連絡。	期末	レポート 4/6～6/6 詳細は『筑摩』にて連絡。
----	------------------------------	----	------------------------------

◇成績評価の方法

成績はテスト、レポート、面接出席状況等から総合的に評価する。

観点別評価の「知識・技能」は、主としてテストによる学習の定着度から評価する。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格の時はCとする。

「思考・判断・表現」は、6通のレポートの取り組みを総合して評価する。レポートの課題まで全てをしっかりと取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、不合格の時はCとする。

「主体的に学習に取り組む態度」はスクーリングの出席状況と学習態度を合わせて評価する。出席状況がよく積極的に学習に取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、合格基準を超えない時はCとする。

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	国語表現 (前)	前期2単位	6	6	3

◇科目の目標

国語で適切に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし言語感覚を磨き、進んで表現することによって社会生活を充実させる態度を育てる。

◇科目の概要

文の書き方の基本的なルールを学び、そこから自己PR文、エッセイ、小論文等、様々な文章を書くことにより、自己の思想を表現する。

◇学習の進め方

教科書を熟読し、レポートに取り組む。疑問点はスクーリング等を活用して、積極的に質問する。

◇履修にあたっての留意点

自分の言葉で、自分の文章をしっかりと書くこと。

◇使用教科書・副教材 『国語表現 改訂版』(教育出版)・『カラー版 新国語便覧』(第一学習社)

◇スクーリング計画

回数	開 講 月 日	授 業 内 容	教科書ページ
1	4月23日・24日	「表記の仕方」 「語句の用法と文のくぎり方」	12～13 14～15
2	5月7日・8日	「文章のリフォーム」 『呼応の副詞』の使い方	16～17 14
3	5月14日・15日	「わかりやすい説明の方法」 「レトリックの工夫」・「スピーチの方法」	18～19 20・46～49
4	6月25日・26日	「つなぐ言葉」・「エッセイを読む」 「ブレイクストーミング」 「エッセイを書く」	36～37・140～ 148・132～145
5	7月2日・3日	「待遇表現——敬語によるコミュニケーション」 「自分を知る」・「自己PR文の書き方」	54～55 62～65・68～69
6	7月16日・17日	「意見を論理的に述べる」 「セルフ・ディベート」・「テーマ型小論文」	24～27 28～29・34～35

◇テスト範囲

中間	レポート 1/6～3/6 詳細は『筑摩』にて連絡。	期末	レポート 4/6～6/6 詳細は『筑摩』にて連絡。
----	------------------------------	----	------------------------------

◇成績評価の方法

成績はテスト、レポート、面接出席状況等から総合的に評価する。
 観点別評価の「知識・技能」は、主としてテストによる学習の定着度から評価する。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格の時はCとする。
 「思考・判断・表現」は、6通のレポートの取り組みを総合して評価する。レポートの課題まで全てをしっかりと取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、不合格の時はCとする。
 「主体的に学習に取り組む態度」はスクーリングの出席状況と学習態度を合わせて評価する。出席状況がよく積極的に学習に取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、合格基準を超えない時はCとする。

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	国語表現 (後)	後期2単位	6	6	3

◇科目の目標

国語で適切に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし言語感覚を磨き、進んで表現することによって社会生活を充実させる態度を育てる。

◇科目の概要

文の書き方の基本的なルールを学び、そこから自己PR文、エッセイ、小論文等、様々な文章を書くことにより、自己の思想を表現する。

◇学習の進め方

教科書を熟読し、レポートに取り組む。疑問点はスクーリング等を活用して、積極的に質問する。

◇履修にあたっての留意点

自分の言葉で自分の文章をしっかりと書くこと。

◇使用教科書・副教材 『国語表現 改訂版』(教育出版)・『カラー版 新国語便覧』(第一学習社)

◇スクーリング計画

回数	開講月日	授業内容	教科書ページ
1	10月15日・16日	「表記の仕方」 「語句の用法と文のくぎり方」	12～13 14～15
2	10月22日・23日	「文章のリフォーム」 『呼応の副詞』の使い方	16～17 14
3	10月29日・30日	「わかりやすい説明の方法」 「レトリックの工夫」・「スピーチの方法」	18～19 20・46～49
4	12月3日・4日	「つながり言葉」・「エッセイを読む」 「ブレインストーミング」「エッセイを書く」	36～37・140～ 148・132～145
5	12月10日・11日	「待遇表現——敬語によるコミュニケーション」 「自分を知る」・「自己PR文の書き方」	54～55 62～65・68～69
6	1月7日・8日	「意見を論理的に述べる」 「セルフ・ディベート」・「テーマ型小論文」	24～27 28～29・34～35

◇テスト範囲

中間	レポート 1/6～3/6 詳細は『筑摩』にて連絡。	期末	レポート 4/6～6/6 詳細は『筑摩』にて連絡。
----	------------------------------	----	------------------------------

◇成績評価の方法

成績はテスト、レポート、面接出席状況等から総合的に評価する。
 観点別評価の「知識・技能」は、主としてテストによる学習の定着度から評価する。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格の時はCとする。
 「思考・判断・表現」は、6通のレポートの取り組みを総合して評価する。レポートの課題まで全てをしっかりと取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、不合格の時はCとする。
 「主体的に学習に取り組む態度」はスクーリングの出席状況と学習態度を合わせて評価する。出席状況がよく積極的に学習に取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、合格基準を超えない時はCとする。

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	文学国語①	前期2単位	6	6	3

◇科目の目標

生涯にわたって社会生活に必要なとなる国語の知識や技能を身に付けるとともに我が国の言語文化に対する理解を深める。また、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養う。さらに、文学国語の学習を通じて、読書に親しみ、他者や社会に関わっていく姿勢を身につける。

◇科目の概要

古典も含めた文学作品を鑑賞し、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わう。また、楽しみながら文学作品を創作し、表現する。

◇学習の進め方

作者がどんなことを伝えようとしているのかを考えながら読むことを心がけてください。また、辞書を活用し、わからない語句は調べながら読解しましょう。

◇履修にあたっての留意点

いろいろなことに対してなぜなのかと考えたり、知らない事柄や言葉を調べたりすることも大切な学習です。各自の自主的・積極的な取り組みを望みます。

◇スクーリング計画

回数	開 講 月 日	授 業 内 容	教科書 ページ
1	4月30・5月1日	「文学的な文章とは?」「場面設定を押さえる」 「そとみとなかみ」	p. 10・11 p. 27~33
2	5月7・8日	「晴れた空の下で」、詩「道程」	p. 56~65、p. 66~68
3	5月28・29日	「児の飴食ひたること（『沙石集』）」 「はしたなきもの（『枕草子』）」	p. 72~74 p. 178
4	6月25・26日	『山月記』、「生まれ変わる文学」	p. 90~109、p. 110~
5	7月9・10日	『さくら日和』、本の世界を広げよう	p. 184~195、p. 66~
6	7月23・24日	『待合室』	p. 230~243

◇テスト範囲

中間	レポート①②③	期末	レポート④⑤⑥
----	---------	----	---------

◇成績評価の方法

成績はレポートの評価、テスト、面接出席状況等から総合的に評価します。観点別評価の「知識・技能」は主としてテストによる学習の定着度から評価します。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格のものはCとします。「思考・判断・表現」は6通のレポートの取り組みを総合して評価します。しっかりと取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、不合格のものはCとします。「主体的に学習に取り組む態度」はスクーリングへの出席状況と学習態度を合わせて評価します。出席状況がよく、積極的に学習に取り組んだものにはA、合格基準を超えたものはC、合格基準に満たなかったものはCとします。

◇使用教科書・副教材 新編文学国語（大修館書店）、新国語便覧（第一学習社）

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	文学国語②	後期2単位	6	6	3

◇科目の目標

生涯にわたって社会生活に必要なとなる国語の知識や技能を身に付けるとともに我が国の言語文化に対する理解を深める。また、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養う。さらに、文学国語の学習を通じて、読書に親しみ、他者や社会に関わっていく姿勢を身につける。

◇科目の概要

古典も含めた文学作品を鑑賞し、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わう。また、楽しみながら文学作品を創作し、表現する。

◇学習の進め方

作者がどんなことを伝えようとしているのかを考えながら読むことを心がけてください。また、辞書を活用し、わからない語句は調べながら読解しましょう。

◇履修にあたっての留意点

いろいろなことに対してなぜなのかと考えたり、知らない事柄や言葉を調べたりすることも大切な学習です。各自の自主的・積極的な取り組みを望みます。

◇スクーリング計画

回数	開講月日	授業内容	教科書ページ
1	10月15・16日	「少なくとも最後まで歩かなかった」	p. 18～
2	10月22・23日	「ナイン」	p. 40～
3	11月5・6日	「かぐや姫の昇天」 一言で心をつかもう	p. 114～ p. 34～
4	12月3・4日	「飛ぶことを知っている魂」 「クルミの小部屋」	p. 218～ p. 223～
5	12月17・18日	「短歌」「俳句」 川柳を作ろう	p. 282～ p. 290～
6	1月14・15日	「山椒魚」	p. 296～

◇テスト範囲

中間	レポート①②③	期末	レポート④⑤⑥
----	---------	----	---------

◇成績評価の方法

成績はレポートの評価、テスト、面接出席状況等から総合的に評価します。観点別評価の「知識・技能」は主としてテストによる学習の定着度から評価します。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格のものはCとします。「思考・判断・表現」は6通のレポートの取り組みを総合して評価します。しっかりと取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、不合格のものはCとします。「主体的に学習に取り組む態度」はスクーリングへの出席状況と学習態度を合わせて評価します。出席状況がよく、積極的に学習に取り組んだものにはA、合格基準を超えたものはC、合格基準に満たなかったものはCとします。

◇使用教科書・副教材 新編文学国語（大修館書店）、新国語便覧（第一学習社）